

## リーガ城(ラトビア リーガ市) (現大統領官邸)

リーガ城 (Rīgas pils) は、ラトヴィアの首都リーガにある城。旧市街地区に位置する。現ラトヴィア大統領官邸。

### 歴史

リーガ城は、リーガ市民とリヴォニア帯剣騎士団の抗争の中で幾度も建設・破壊が繰り返された。1330年、抗争に勝利したリヴォニア騎士団の拠点として建てられたが、その後もリーガ市民と騎士団の対立は続き、一時は騎士団がツェーシスに拠点の移転を余儀なくされた。15世紀末より再び騎士団が優勢となり、市民に荒廃していた城の再建を命じ、1515年に再建が完了した。両者の抗争は16世紀後半に騎士団が消滅したことで終結するが、17世紀前半にはスウェーデン軍によって征服され、18世紀前半になると大北方戦争によってロシア帝国に征服された。第一次世界大戦を経てラトヴィアは独立を果たし、1922年には初代ラトヴィア大統領官邸とされた。

2013年に火災に遭い内部の修復が続けられていたが、2016年8月に終了し、現在は再び大統領官邸となっている<sup>[1]</sup>。

Wikipediaによる

